



〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)

E-mail: dai131@setagaya.ed.jp

<http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/>

卒業生に伝えたこと ～式辞から～

校長 紺谷 祥一



「コロナ禍」で入学をした卒業生には、たびたび、「言葉」と「体験」の大切さを説きました。“言葉は体験を豊かにし、体験は言葉を豊かにする。”—言語活動と体験活動とは、互いの定着を補い合う関係にあることを踏まえ、それらの相互作用促進は同時にその質の向上がねらいとなりました。コロナ禍での「体験」はもどかしいばかりでしたが、その分、この間には、多くの素敵な言葉、勇気づけられる言葉に出会いました。

卒業生が一年生の時の学年目標はとてもシンプル。「あいさつ・けじめ・おもいやり」が合言葉でした。緊急事態宣言下の令和三年五月二十九日(土)、「できる範囲の最大限」の運動会を開催。

さまざまな制限がかかった当時の運動会は、結果として勝ち負け以上に大切なものを教え、子どもたちを大きく成長させました。彼らが二年生になると、学年目標はよりシンプルに。—「温かく、誠実な心」。ただ、ここには副題がありました。～自分の良さを活かし、他者との関わりを楽しめる学年づくり～ どういった言動が人の心を温かくするのか等を意識しよう、という学年目標でした。どうすれば自分の良さを活かせるか、どうすれば他者との関わりを楽しめるか、について折に触れ考え、出した結論は、仲間から『ありがとう』と言ってもらえるような行動を増やしていくことでした。しかし、そもそも自分の良さとは何だろう、と悩み、もがいていたあの姿は、まさに、今の二年生の姿と重なります。もやもやとした思いの中、秋に実施された二つのキャリアプログラムの中に、その解のヒントになった言葉がありました。一つは、「Catch Your Dream」というプログラムで出会ったもの。ここでは、ずばり、“どんな大人になりたいのか?”が、直球で問われました。大人になった自分についてイメージを膨らませ、「自分自身」について深く考える営み。それは否応なく自分と向き合う時間となりました。また、上馬にあるネジの永井・永井耕太郎様の「一本のネジが繋ぐ社会」という演題での講演では、ネジの魅力、仕事のやりがい等についての熱い語りを聞きました。その際、たびたび語られていた、「出会い」や、「縁」という言葉もまた当時の二年生の心に刻まれました。

三年生となり、まだ最高学年としてなり切れていなかった六月、その時かけられた言葉にも強い力がありました。小学校時代から気心知れる間柄にあっても、「けじめをつけること」、「仲間との関係づくり」が当時たびたび課題となり、指導されていました。「いじり」が高じて「いじめ」になったことも…。その時、一人の先生から、『あなたたち、もう今まで通りの子どもじゃないんだよ。お互いに成長しているんだよ』と、指摘され、ハッと我に返った子は少なくありませんでした。そして迎えた修学旅行。三年教職員団と生徒との絆を固く結ぶ言葉、学年目標「信頼あるつながり」を具現化する言葉、それは、『悔しかったんだよ!』という言葉でした。京都・青蓮院での規律厳しい体験活動を前に、前年度立派にやり遂げた先輩を引き合いに、ずいぶん心配されていました。しかし、当日は見事にやり切り、ご住職にたくさん褒められたのでした。ある先生は、翌朝のホテルの食堂で、「悔しかったんだよ!」という思いを吐露しました。自分の受け持つ子たちが、かつての先輩と比較され、見くびられ、心配されていたことに強い悔しさがあったのです。愛情あふれる一言に対し、卒業生は最高学年として変わり、よく期待に応えました。

その秋が過ぎ、冬が近づくにつれ、受験のプレッシャーに押しつぶされそうになった時、三階の廊下に掲げられた言葉は、「受験も団体戦」でした。卒業生は日ごろの授業をみんなで大切にしながら、受験を乗り越え、三月一日には全員がそれぞれの進路を決定させました。圧巻は全校での予行練習の日。予行が終わった際、突然卒業生から、後輩に対し、また、我々教職員に対し、「感謝の言葉」が贈られる場面もありました。長くいる職員にもそれはかつてない光景であり、私の胸を熱くしました。

卒業生にあっては、もちろん、在校生にも、「言葉」と「経験」を大切にしながら日々の生活を送る姿を強く期待します。

1年生の様子から（学年主任 安達敬江）

卒業証書授与式の練習に真剣な眼差しで臨む姿を見て、子どもたちのこの一年の成長を改めて感じることができました。「応援される人・学年になる」を学年目標に、学年全員で一年間全力で取り組んできました。

4月7日の入学式、慣れない制服に身を包み、まだまだあどけない表情だった子どもたちですが、河口湖移動教室や運動会、合唱コンクール、TGG、大蔵大根栽培・・・などの取り組みを通じて、本当に大きく成長しました。どの行事でも実行委員や班長が、全員が楽しく、安全に、そして一生懸命に取り組むためにはどうしたらいいか意見を出し合い、皆を引っ張り、また押し上げ、成功に導いてくれました。

私が特に印象に残っているのが大蔵大根栽培です。小学校でも植物の栽培を行ったことはあったようですが、畑作りから行うのは初めてだったと思います。草取りや毎日の水やり、あおむし取りなど思った以上に大変な活動でしたが、大根リーダーを中心に、皆がいつも楽しそうに、そして自分たちの仕事に責任感と誇りを持って取り組んでいて、その姿にとっても感動しました。300本を超える、大きな大蔵大根が収穫できた時の子どもたちのキラキラした目も強く心に残っています。子どもたちはきっと、2年生でもさらに大きな成長を見せてくれることと思います。これからも学年全員で全力で頑張っていきます。来年度もよろしくお願いいたします。

2年生の様子から（学年主任 飯森有子）

「チャレンジ&クリエイト（創造）～互いの良さを活かそう」という目標でスタートした2年生。後輩を迎えて、自分たちが喜多見中学校の中心となって活動する意識を高めることを目指しました。特に後期になって、専門委員長や部活動の部長になり、全体の前で活躍する場面が増えてきました。生徒会朝礼での発表に臨む姿勢、その内容、たいへん堂々とした立派なものです。目に見えた成長を感じられます。

また、1月後半に行われた校外学習は、自分たちでコースに沿った見学場所を検討し、時間の配分や昼食場所など話し合いを重ねて自分たちなりのコースを作り上げることに挑戦しました。当日の混雑による遅れや変更など、予想外のトラブルも、その都度班員で話し合い対応することができました。交通経路に詳しい班員がいたり、人に聞いたり、お互いの持つ力を発揮し合うなど、苦労とともに達成感も大きく感じる事ができ、学年目標を具現化した取組みができたと思います。

最後の取り組みとしては、昨年に引き続きスピーチ「14歳の主張」を行いました。それぞれの内面の成長を実感・共有できる機会でした。まだまだ途上の2年生ですが、着実に成長していることを自分自身が、お互いが認め合う姿に、我々教員も胸にぐっとくるものがあります。保護者の皆様、この1年間支えていただきありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

互いの持つ力

3年生の様子から（学年主任 岡部宏子）

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが入学してからあっという間に時が過ぎ、卒業してしまったなんてまだ信じられません。

私が皆さんに望んでいること、それは1年生の最初の学年集会から伝えている通り、喜多見中学校に在学中はもちろん、卒業してもずっと幸せでいて欲しいということです。たくさんのことを学び、吸収できる中学校時代、苦しいことも大変なことも、楽しいことも嬉しいこともあったかもしれませんが、それら全てが卒業生のこれからの人生の力になって欲しいと思いながら、ずっと一緒に過ごしてきました。

今後何かに直面した時、喜多見中学校で多くの人に支えられながら信頼あるつながりの中で生活したことを思い出してください。そして泣いて、笑って、美味しいものを食べて、新しい明日を迎えてくれるとうれしいです。

卒業式で心が1つになった団員の合唱、魂が揺さぶられました。教師という仕事の素晴らしさを改めて実感したと同時に、私自身、力をもらいました。みんなが大好きです！ずっとずっと、応援しています！

最後になりましたが、3年間、保護者の皆様、そして地域の皆様、ご協力いただき本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです！これからもどうぞ喜多見中学校をよろしくお願いいたします。

感謝



今年度最後の「わたしのきたみち」は、岡田 先輩（H.31卒）です。“「本当の自分」にある特別な良さ” — 時々野球部でも指導くださる、魅力的な先輩です！

皆さんこんにちは。今年で大学2年生になる岡田です。私からは思春期を生きる一人の若者として感じたことを共有しようと思います。中学生になった皆さんは、新しい先生や先輩後輩の関係、ちょっとした恋愛感情など、新しい価値観で人と接することが多くなったと思います。今までとは違う価値観で過ごす中で、人の目が気になっていることはありませんか？誰かにこう思われているんじゃないか、あの人が嫌われているんじゃないか、と気になったことはありませんか？小学生の時のように、去年のように、昨日のようにはちゃけている自分を恥ずかしく思うようになってはいませんか？人の目を気にすることは誰しもが通る道で、悪いことではありません。しかし、人の目を気にする中で自分を嫌いになってしまうことがあります。誰かに好かれるための理想像と「本当の自分」に距離があり、これを埋めるために自分を作り替えていくなかで「本当の自分」を見失ってしまうからです。

大学1年生として過ごした昨年、私はまさにその中にいました。大学で一人でも多くの人によく思われようと落ち着いた雰囲気をもとに、無理をしてでも他人の要求に対応する、いわゆるイイ奴を演じていました。時がたつにつれ「本当の自分」ではなく偽りの自分しか知らない友人に囲まれ、私自身も「本当の自分」を見失っていました。やがて、押しつぶしていた「本当の自分」は爆発し、それでも偽り続けることしかできない自分が嫌いになりました。受験勉強よりも、親友との衝突よりも辛い日々をだったことを覚えています。

人の目を気にしなくなることは不可能に近いし、自分を作ることも悪だとは思いません。ただ、理想像はあくまで理想であって、「本当の自分」にも特別な良さがあります。「本当の自分」を好んでくれる人も必ずいます。今後、皆さんは今よりも多くの人と関わるといいます。そこで人の目を気にして完全に偽った自分で生きるのではなく、少しでも「本当の自分」を大切にしたい生き方ができると、最高に楽しい人生があなたを迎えてくれるでしょう。

(R5.3)



第42回卒業式 ～ 3年生が巣立って行きました ～



19日(火)、第42回卒業式を挙行了しました。保護者の皆様、たくさんのご来賓が見守る中での、喜多見中らしい温かな式となりました。「笑顔で卒業」の合言葉どおり、3年生は爽やかに巣立って行きました。胸を張って卒業証書を受ける姿や、声高らかに2曲(「時を越えて」と「あなたへ」)を答辞中に歌い上げた姿は、後輩たちはもちろん、保護者の皆様、ご来賓、そして教職員一同の心に深く響きました。卒業生をこれまで温かく見守っていただきました皆様に対し、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

3年生代表生徒による答辞より(抜粋)

…… 私たちはこれまで、本当に沢山の方に支えられてきました。多くの方の助けがあったからこそ、苦勞を乗り越えることができました。時には衝突することがありながらも、共に多くの時間を過ごしてきた友人は、ライバルであり、大切な仲間です。友人と笑い合うだけで、嫌なことも吹き飛び、心がとても軽くなったことが何度もありました。学校行事で一致団結したこと、たわいもない話で盛り上がったこと、どれも忘れられない思い出であり、これからの人生の力になると思います。支え合い認め合える仲間がいたからこそ、大きく成長することができました。本当にありがとう。

そんな私たちは、失敗もあったけれど、それでも諦めず努力を続けることができたのは、先生方が導いてくださったからです。何より、喜多見中学校の先生方は誰もが個性豊かで、私たちの興味を引く工夫された授業が多く、苦手だった教科の良さを発見することができました。授業外で、私たちの答えのない相談に応じ、安心させてくださったこと、雑談の中で私たちが知らない世界について教えていただいたことも、印象に残る楽しい時間となりました。最後まで私たちに向き合い、生徒全員のことを思ってください、感謝しきれない気持ちでいっぱいです。最後に、保護者の皆様、これまで大切に育ててください、本当にありがとうございました。毎日のようにぶつかってしまいましたが、私たちのことを思い、時に優しく、時に厳しく私たちと接し、ずっと支えてくれたから、困難も乗り越えることができました。辛いことや諦めたくなることがあった時にくれた励ましの言葉は、とても力になりました。今まで常に感謝の気持ちは持っていましたが、上手く口にできず、素直に伝えられていなかっただけに思います。それにもかかわらず、何度も話し合い、私たちの未来について真剣に考えてくれました。本当に感謝してもしきれません。……

PTAより記念品

この度の卒業生に対して、PTAよりフードボット(写真右)が記念品として贈呈されました。大切にさせていただきます。ありがとうございました。

また、式当日には、谷本会長はじめ役員の方々にご接待や式への参列をいただき改めて御礼申し上げます。また、卒業生の保護者宛てに、「標準服リサイクル」のお願いをすぐるにて依頼の配信をしています。PTAの活動についてご理解とご協力をお願いします。



日本財団よりお礼の手紙が届きました

能登半島地震の被災支援を目的に、去る1月29日および30日にボランティア部が中心となって「書き損じ葉書き」を回収しました。学校から集めた葉書き74枚を日本財団に送付したところ、同財団からお礼の手紙と「ドネ通信」(寄付先の現場から被災者の声や取組みを紹介するレポート。オリジナルは職員室前に掲示。)が届きました。厳しい状況が続いていることは報道等でも知るところですが、一人ひとりの思いが届いたことは嬉しい限りです。一日も早い復興をみんなで祈りましょう。



天板張替え 作業ボランティア

～ ご協力ありがとうございました ～



9日(土)実施の天板張替えボランティアにはたくさんの保護者の方々に集まりいただき、約70枚の天板が綺麗に生まれ変わりました。皆様、ありがとうございました。また、その後に開催しました「親睦会」も大盛況! 有意義な土曜の午後となりました。また機会がありましたら、よろしくお願いします。

今年度はドッジボール！ KITAMI カップ

今年度の生徒会主催 KITAMI カップはドッジボール大会となりました。3月1日から10日までの期間、格技室では熱戦が繰り広げられました。昨年度種目のサッカー同様に、3年生との対戦権をかけて、まずは2年生と1年生が対戦。なかには大番狂わせもあるなど、大きく盛り上がりました！

自分たちの昼休みを活用し、企画から運営まで生徒のみで展開するKITAMIカップ。今年は笑顔と爽やかなフェアプレー、そして会場を包む歓声が印象的でした。



春休み中の生活について（ご家庭でお子さんと一緒に☑をお願いします！！）

保護者の皆様におかれましては、年度末はたいへんに忙しく、お子様とゆっくり向き合う時間が少ないかと存じます。しかし、子どもたちにとっての春休みは、期待と不安が交錯する特別な時期であり、ご家庭での適切な声掛けが不可欠です。4月からの新しい生活が円滑にスタートできるように、ご家庭においてぜひ、以下の事柄についてお子様と確認をする時間を設けてください。休業中も何かありましたら、遠慮せず学校にご相談ください。

- ☐ **不安や悩みを抱えたときには一人で抱え込まず、助けを求めること**が大切です。また、警察を含めた身近にいる信頼できる大人に対してSOSを出すこと、相談窓口等がたくさんあるので利用しましょう。
- ☐ **強い規範意識をもって、社会のルールを守ろうとする態度や正しい判断の下に行動すること**が大切です。とりわけ**性に関わる誘惑に負けないこと**、暴力事案等にも巻き込まれないように注意しましょう。
- ☐ コミュニティ型のWebサイトや無料通話アプリケーションの利用に関わるトラブル、過度な使用によるインターネット依存についても十分に注意をしましょう。**SNSの正しい使い方を徹底**し、事件や事故の被害者・加害者にならないよう細心の注意をはらうこと。
- ☐ 交通事故に注意しましょう。特に**自転車の乗り方については、ルールを守ること**。万一、事故等が発生して加害者になった場合は大きな損害賠償を負う可能性があること。また、事故が発生した際は警察への通報や保護者、学校への報告等も確実にすること。
- ☐ **外出の際は家人に対し行き先、経路、同行者、帰宅予定時刻等をきちんと知らせること**。特に**不審者と遭遇した際は、必ず110番通報**をして地域の安全維持に協力すること。
- ☐ 電話等による個人情報の聞き出し等に十分注意すること。春休み中は、特にトラブルが多く寄せられています。名簿等の管理を徹底して、**みんなで互いのプライバシーを守ること**が大切です。

自分自身を大切に

4月の予定から

- 4月 8日（月）始業式
 9日（火）入学式
 10日（水）新入生歓迎会 ※給食開始
 13日（土）土曜授業日 ※着こなしの日
 16日（火）学習習得確認調査（全学年）
 18日（木）全国学力学習状況調査（3年生）
 22日（月）朝礼



※1年生3者面談週間（～25日まで）
 ※2,3年生は希望制による面談を実施します
 （詳細は、後日すぐ一にてお知らせします）

始業式は4月8日（月）

- 【登校時刻】 8時00分から25分に昇降口前にて掲示される紙面で新クラスを確認後、新クラスへ移動します。
 【下校時刻】 11時30分頃（給食なし）
 【持ち物】 上履き、雑巾、筆記用具、メモ帳、宿題など

4月の相談室の開室日

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9 □	10	11 ○	12	13
14	15	16 □	17	18 ○	19	20
21	22	23 □	24	25 ○	26	27
28	29	30 □	1	2 ○	3	4

相談室直通ダイヤル 03-3417-5372

【担当SC】 □：都築 ○：高瀬

【場所】 相談室は中央校舎1階 保健室の隣です

◎3月相談件数 総数：33件

（生徒および保護者からの相談件数計）

本紙発行に際しましては、今年度も多くの方々にご協力をいただきました。この場をお借りして感謝を申し上げます。ありがとうございました。また、来年度も精力的な取材と充実した紙面作りに努め、喜多見中学校の様子を積極的に伝えたいと思っております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。